



宮城県職員（原子核工学）募集要項

令和 6 年 4 月 23 日
宮 城 県

令和 6 年度宮城県職員（原子核工学）採用選考考査を、次のとおり行います。

1 職種・採用予定人員・職務内容

職 種	採用予定人員	職 務 内 容
原子核工学	1 人程度	環境放射線監視センター、原子力安全対策課、保健福祉事務所等に勤務し、原子核工学、環境衛生等の業務に従事します。

2 応募資格

(1) 次の①及び②の要件を満たす人

- ① 平成元年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業若しくは令和 7 年 3 月 31 日までに卒業する見込みの人又はこれらと同等以上の経歴を有すると認められる人
- ② 放射性同位元素等の規制に関する法律第 35 条第 1 項に規定する第 1 種放射線取扱主任者免状を有する人又は同法第 35 条第 2 項に規定する第 1 種放射線取扱主任者講習の受講資格を有する人若しくは令和 7 年 3 月 31 日までに受講資格を取得する見込みの人

(2) 次のいずれかに該当する人は、(1)の要件を満たしても応募できません。

- ① 日本の国籍を有しない人
- ② 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
- ③ 宮城県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない人
- ④ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人
- ⑤ 平成 11 年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている人（心神耗弱を原因とする人を除く。）

3 考査の実施時期・考査種目・考査会場

考査の実施時期		考査種目	考査会場
第 一 次 考 査	6月16日(日) 受付開始 9:00 着席時刻 9:40 終了予定 15:45	教養考査 (択一式)	受考地として仙台を選択した場合 下記の4か所の考査会場のうち、いずれかを受 考票で指定します。 ・宮城県仙台南高等学校 (仙台市太白区根岸町14-1) ・宮城県工業高等学校 (仙台市青葉区米ヶ袋三丁目2-1) ・宮城県行政庁舎 (仙台市青葉区本町三丁目8-1) ・宮城県自治会館 (仙台市青葉区上杉一丁目2-3) 受考地として東京を選択した場合 ・TKP市ヶ谷カンファレンスセンター (東京都新宿区市谷八幡町8) 受考地として大阪を選択した場合 ・TKPガーデンシティ大阪梅田 (大阪府大阪市福島区福島5-4-21 TKPゲートタワービル)
		専門考査 (記述式)	
第 二 次 考 査	7月8日(月) ～7月11日(木) のうち指定する日	適性検査 人物考査	・仙台市内

(注) 第2次考査の詳細については、第1次考査合格者に書面でお知らせします。

(注) 災害の発生等やむを得ない事情により考査日時、考査会場、合格発表などを変更する場合には、宮城県職員採用試験情報トップページでお知らせします。

宮城県職員採用試験情報トップページ



注意事項

各考査会場に駐車場はありませんので、自家用車での来場はご遠慮ください。特に、近隣商業施設等への無断駐車(送迎の待機等)は、絶対に行わないでください。

また、送迎であっても、近隣に長時間停車されますと周辺住民のご迷惑となりますので、乗降後は速やかに移動願います。

4 考 査 内 容

考査種目		内 容
第 一 次 考 査	教養考査 (択一式)	公務員として必要な大学卒業程度の一般的知識及び知能についての筆記考査 (題数 50 題 時間 150 分)
	専門考査 (記述式)	原子核工学職として必要な専門的知識についての筆記考査 (時間 120 分)
第 二 次 考 査	適性検査	職務を行うのに必要な適性についての検査
	人物考査	公務員としての適格性についての人物面からの考査 (個別面接)
資格調査		応募資格の有無、受考申込書に記入された内容の真否等についての調査

※ 筆記考査の出題は、日本語の活字印刷文により行い、解答も日本語でしていただきます。

5 考査の配点及び合格者の決定方法

(1) 配点

職 種	第 1 次 考 査			第 2 次 考 査		総 合 得 点
	教養考査	専門考査	計	人物考査	計	
原子核工学	100	100	200	200	200	400

※ 第 2 次考査の適性検査については、適否のみ判定し、得点化しません。

(2) 最終合格者は第 1 次考査、第 2 次考査の結果を総合して決定します。

(3) 各考査種目の得点は、原則として標準点化します。標準点とは、平均点、標準偏差等を用いて算出するもので、受考者の点数は、おおむね 0 点から 100 点 (人物考査については 200 点) に分布し、平均点は 50 点 (人物考査については 100 点) となります。ただし、考査種目ごとの受考者数によっては、標準点化しない場合もあります。

(4) 各考査種目において、それぞれの合格基準に満たない種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格になります。

6 考査の出題分野

(1) 教養考査 (択一式)

出題分野
社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈

(2) 専門考査 (記述式)

出題分野
原子核物理学 (放射線、放射能)、原子炉工学

7 専門考査の課題例

我が国で現在利用されている原子力発電用の原子炉について、次の(1)から(6)の問いに答えよ。

- (1) 利用されている核燃料物質は、主にウランであるが、天然に存在するウランをそのまま燃料とすることはできず、燃料の成形前に一度、六フッ化ウラン(UF_6)とした上で、処理を行う必要がある。この処理の概要と必要性を説明せよ。
- (2) 減速材の役割について述べよ。また、減速材として利用されている物質名を挙げ、その物質が利用されている理由を説明せよ。
- (3) 冷却材の役割について述べよ。また、冷却材として利用されている物質名を挙げ、その物質が利用されている理由を、物理的及び核的性質に言及しながら説明せよ。
- (4) 制御材の役割について述べよ。また、制御材として利用されている物質名を挙げ、その物質が利用されている理由を説明せよ。
- (5) 遅発中性子はどのような過程で生成されるか述べよ。また、遅発中性子が原子炉を制御する上で重要な存在である理由を説明せよ。
- (6) 一部の原子炉では、製造時にウラン以外の核燃料物質を混合した核燃料が利用されているが、どのような燃料か述べよ。また、その核燃料に含まれるウラン以外の核燃料物質について、生成から燃料として使用されるまでの過程を説明せよ。

8 受考上の配慮

障害により、車椅子等を使用するなど、受考上の配慮を希望する人は、受考申込時に宮城県総務部人事課人事企画・研修班(電話(022)211-2227)に連絡してください。

9 申込受付期間・受考手続等

＜＜原則としてインターネット（電子申請）により申し込んでください。＞＞

(1) インターネットで申し込む場合

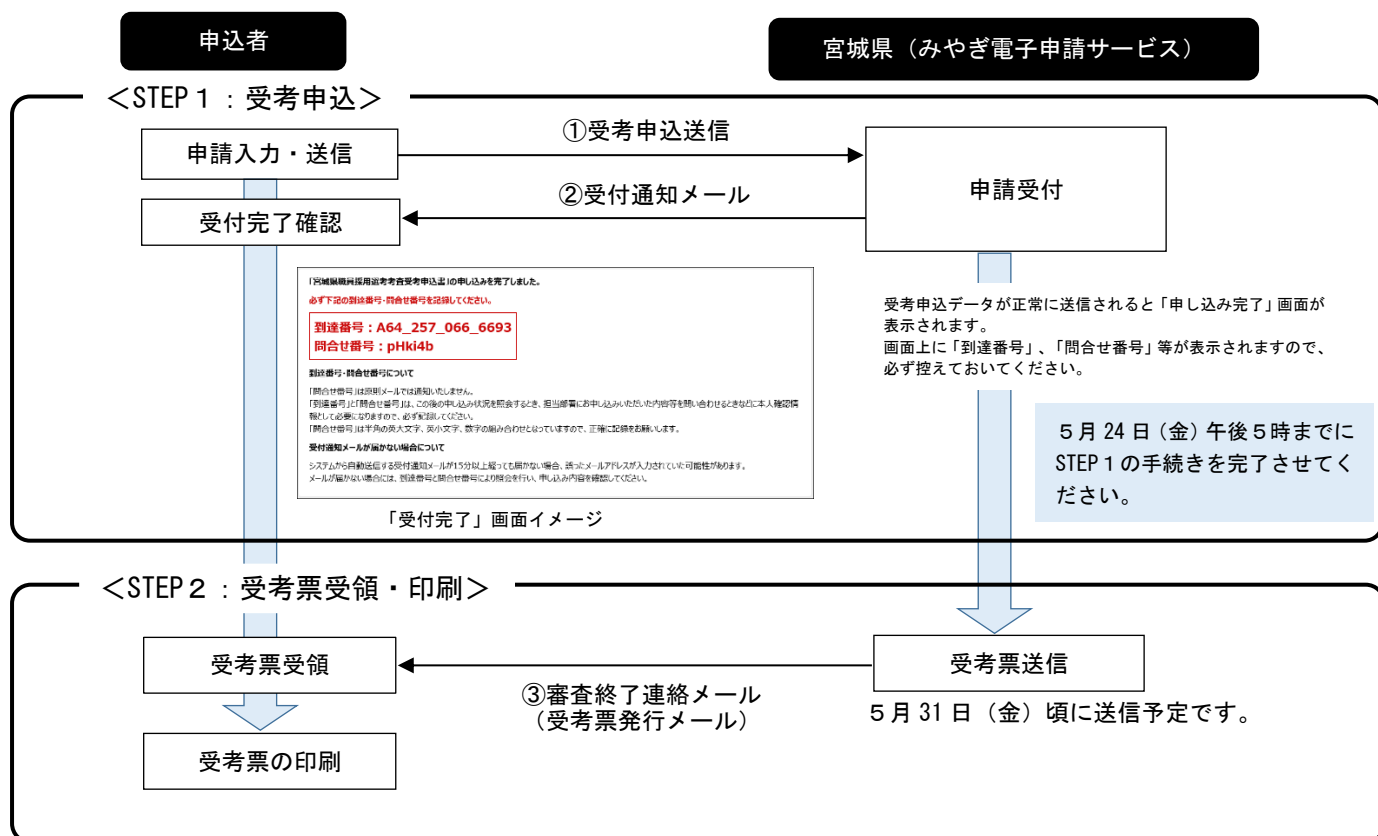
申込受付期間	令和6年5月2日（木）午前9時から5月24日（金）午後5時まで ※受考申込期間最終日は、みやぎ電子申請サービスへのアクセスが集中し、手続きに時間がかかる場合があります。また、通信回線の障害が原因であっても、申込受付期間を過ぎると受付できませんので、余裕をもって早めに申込手続を行ってください。
申込方法及び申込先	下記「電子申請フロー図」及び宮城県総務部人事課ホームページの「インターネットによる受考申込」などをよく確認の上、みやぎ電子申請サービス (https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1712749598198)へアクセスし、申し込んでください。
受考票の交付	令和6年5月31日（金）頃に発行します。 「受考票」を電子メールで送付しますので、第1次考査当日に持参してください。

電子申請フロー図

宮城県総務部人事課ホームページの「インターネットによる受考申込」を必ず確認してください。

■インターネットによる申込みには、次のものがが必要です。

- ・パソコン又はタブレット端末若しくはスマートフォン（一部非対応機種あり）（携帯電話は不可）
- ・本人のメールアドレス
- ・A4サイズが出力できるプリンタ（コンビニのプリントサービスの利用も可）



(2) 郵送又は持参で申し込む場合（インターネットによる申込みができない人）

<p>申込受付 期 間</p>	<p>令和6年5月2日（木）から5月24日（金）まで （持参する場合の受付時間は午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日を除く。）とします。郵送で申し込む場合は令和6年5月24日までの<u>消印</u>のあるもので、令和6年6月12日（水）までに宮城県総務部人事課に届いたものに限り受け付けます。）</p>
<p>申込方法 及び申込先</p>	<p>次の書類を「宮城県総務部人事課」（〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8-1）に提出してください。 郵送で申し込む場合は、封筒の表に「<u>受考申込（原子核工学）</u>」と朱書して、「<u>簡易書留郵便</u>」等の確実な方法により郵送してください。 なお、受考申込書は、郵便法（昭和22年法律第165号）上の信書に該当するため、郵送以外の方法で送ることはできません。</p> <p>① 宮城県職員採用選考考査受考申込書（所定の様式を使用し、<u>写真</u>を貼付したもの。）…………… 1部</p> <p>② 宮城県職員（原子核工学）募集要項受考票にある「受考用はがき宛名」及び「受考票」を点線に沿って切り抜き、<u>63円切手</u>を貼付した郵便はがきの表裏にそれぞれのり付けしたもの…………… 1部</p> <p>※ 受考申込書及び受考票は宮城県総務部人事課のホームページ（https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zinzi/）からダウンロードすることもできます。</p> <p>③ 最終学歴の卒業（見込）証明書又はこれに準ずるもの…………… 1部</p> <p>④ 応募資格の(1)②に掲げる要件を満たすことを証する書類（第1種放射線取扱主任者免状の写し等）…………… 1部</p>
<p>受考票の 交 付</p>	<p>受考票は申込受付期間終了後に郵送しますが、<u>令和6年6月7日（金）</u>までに届かない場合は、宮城県総務部人事課人事企画・研修班（電話(022)211-2227）まで連絡してください。</p>

10 合格発表・採用時期等

- (1) 第1次考査の合格発表は令和6年6月27日（木）（予定）に、第2次考査の合格発表は令和6年8月上旬に、合格者の受考番号を宮城県行政庁舎1階に掲示します。また、宮城県職員採用試験情報トップページに掲載するほか、合格者に書面でお知らせします。
- (2) 最終合格者については、面接を経て、原則として令和7年4月1日以降に採用する予定です。ただし、大学を卒業する見込みの人は、大学を卒業できなかった場合には採用されません。また、第1種放射線取扱主任者講習の受講資格を取得する見込みの人は、受講資格を取得できなかった場合には採用されません。
 なお、既に大学を卒業しており、かつ、第1種放射線取扱主任者免状を有している人又は第1種放射線取扱主任者講習の受講資格を有している人等については、令和6年10月1日以降に採用する場合があります。
- (3) 詳細については、宮城県総務部人事課人事企画・研修班（電話(022)211-2227）にお問い合わせください。

11 考查結果の提供

- (1) この考查の結果については、開示請求によらずに即日提供を受けることができます(下表参照)。
提供を希望する場合は、受考者本人が、受考票及び本人であることを証明する書類(運転免許証、健康保険の被保険者証、個人番号カード等)を持参の上、午前9時から午後5時まで(土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日を除く。)に、下表の提供場所に直接おいでください。

なお、電話により考查結果の提供を受けることはできません。

提供を受けることができる人	提供内容	受付期間	提供場所
第1次考查不合格者	考查種目別の得点、総合得点及び総合順位	第1次考查合格発表日から1か月間	宮城県人事委員会事務局 (仙台市青葉区本町三丁目8-1 (県庁17階))
第1次考查合格者		最終合格発表日から1か月間	

(注) 第1次考查合格者のうち第2次考查を受考しなかった人には、総合得点及び総合順位は付されません。

- (2) 考查結果の提供についての詳細は、宮城県人事委員会事務局(電話(022)211-3761)にお問い合わせください。

12 採用時の給与

- (1) 環境放射線監視センターに配属された場合の大学新卒者の初任給は、給料の調整額及び地域手当を含め、おおむね次のとおりです。(令和6年4月現在)

職種	学歴	初任給
原子核工学	大学卒	(試験研究業務に従事する場合) 229,795円

- (2) 民間等における職歴がある場合は、一定の基準により職歴期間を加算の上、初任給が決定されます。
(3) (1)のほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当(年間約4.5か月分)等がそれぞれの要件により支給されます。

13 その他

この考查についての詳細は、宮城県総務部人事課人事企画・研修班(電話(022)211-2227)にお問い合わせください。